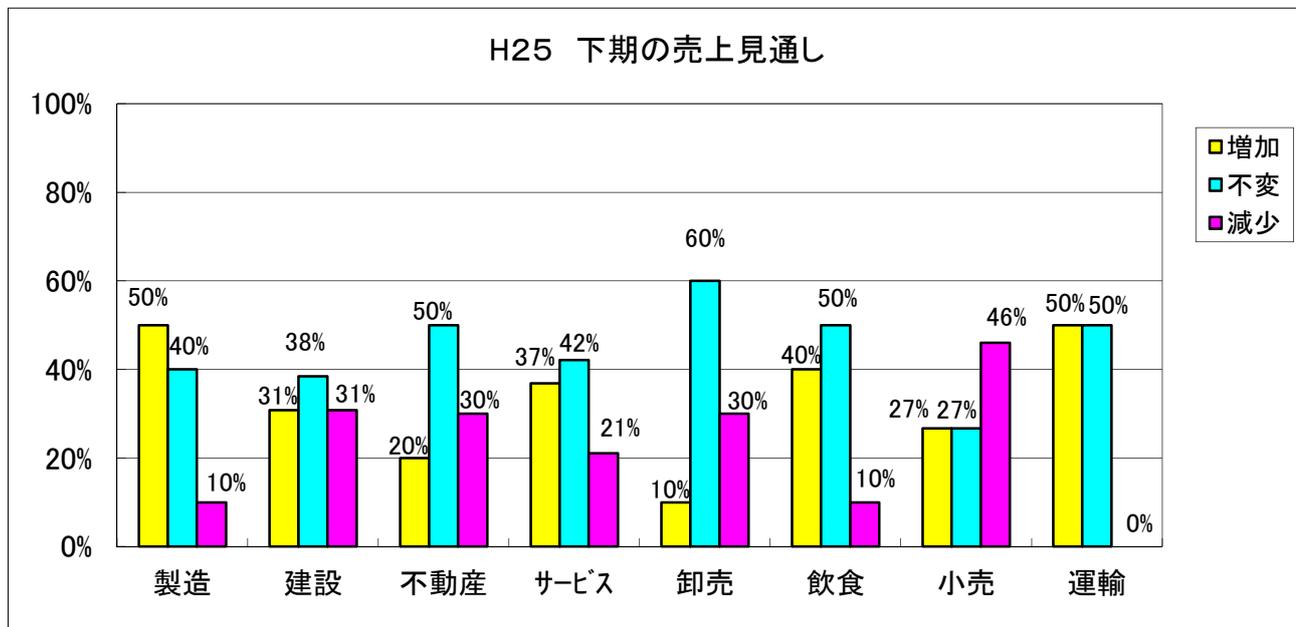


調査2 平成25年1月～6月を水準とした平成25年7月～12月の先行き見通しについて調査した。調査項目は調査1と同じ項目である。⑤業界の景気動向についてはすでに5～6ページで表示してあるのでここでは省略する。

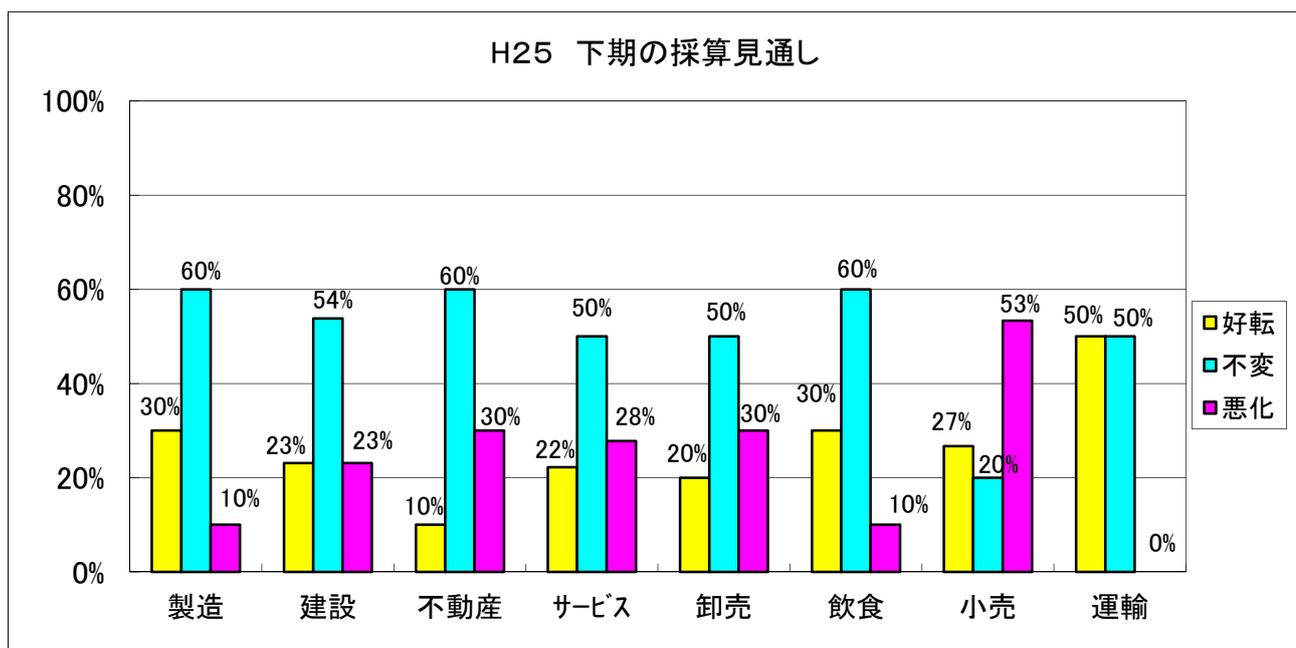
①売上見通し

全体で見ると「増加」33%（前回27%）、「不変」45%（前回41%）、「減少」22%（前回32%）となった。業種別で見ると「減少」より「増加」する見通しが多かった業種は、製造業（50%）、運輸業（50%）、飲食業（40%）、サービス業（37%）であった。一方、「減少」の見通しが多い業種は、小売業（46%）、卸売業（30%）、不動産業（30%）となっており、厳しい見通しとなっている。



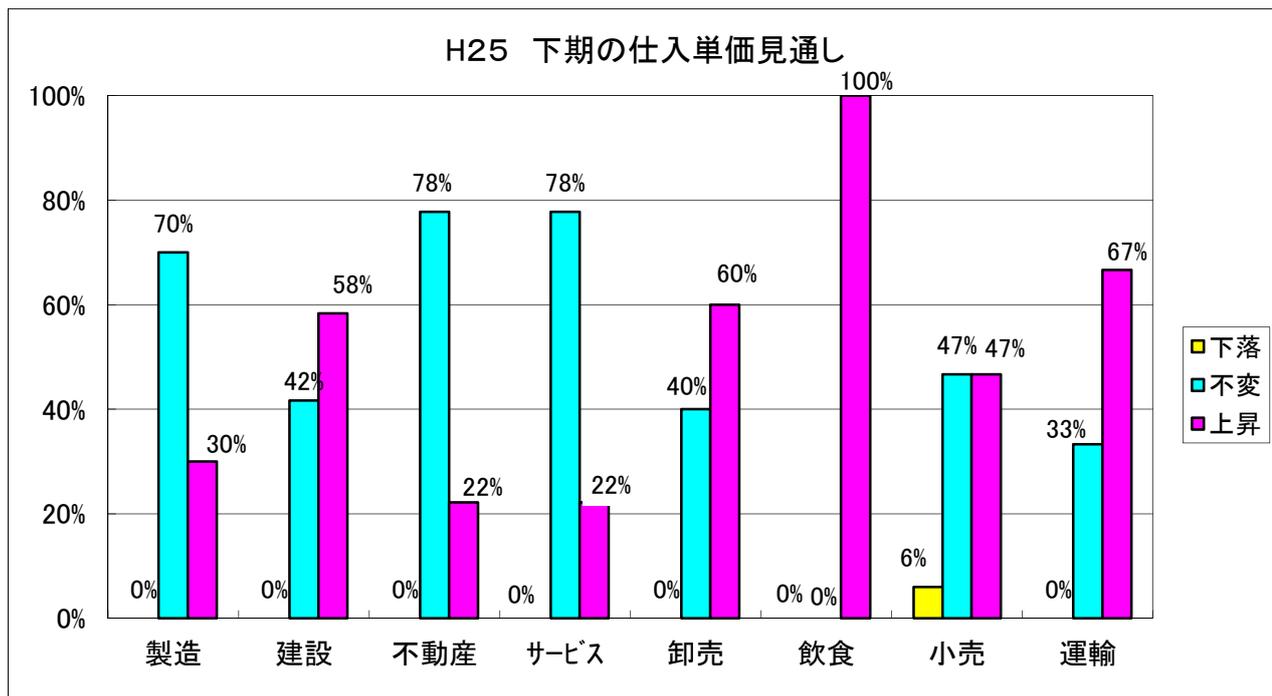
②採算見通し

全体的にみると、「好転」が26%（前回20%）、「不変」が51%（前回55%）、「悪化」が23%（前回25%）となった。業種別では、運輸業、製造業、飲食業が採算見通しが「好転」との回答が多かった。一方、「悪化」の見通しが強いのが小売業、不動産業、卸売業であった。



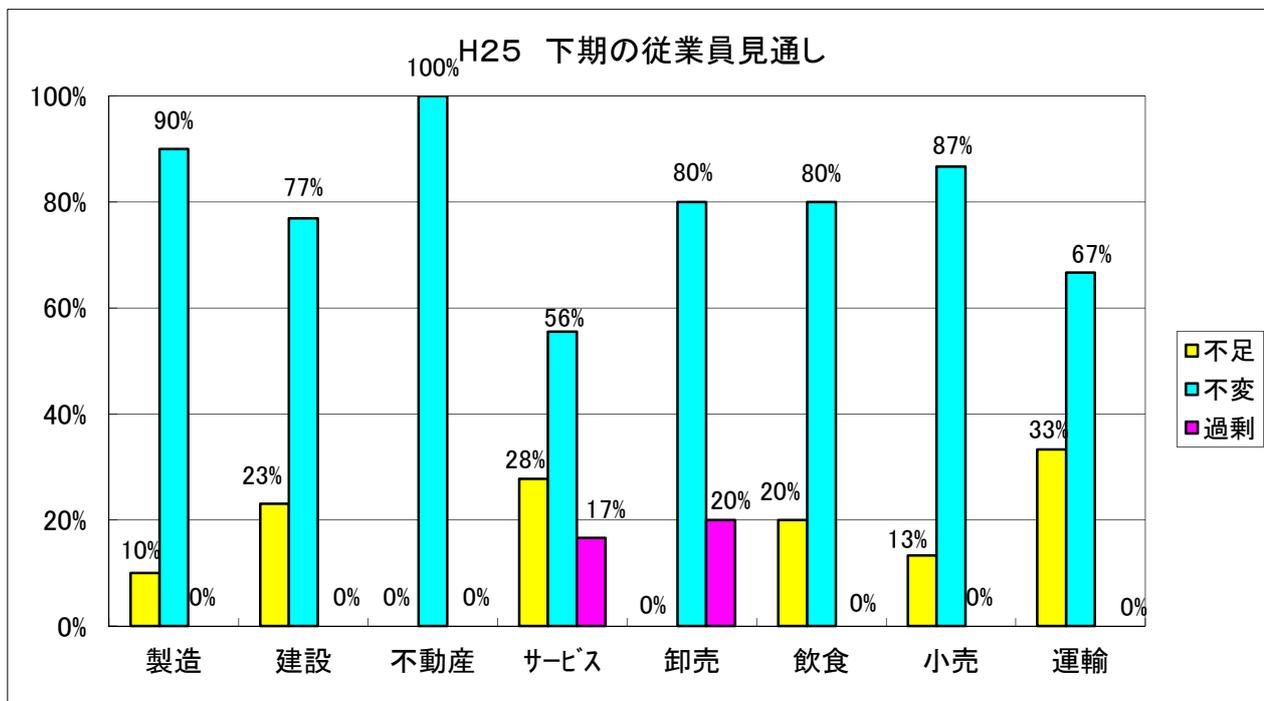
③仕入単価の見通し

仕入単価については、飲食業が原材料の高騰により100%「上昇」と回答している。続いて、運輸業(67%)、卸売業(60%)と続いている。「下落」の見通しはほとんどない。



④従業員の見通し

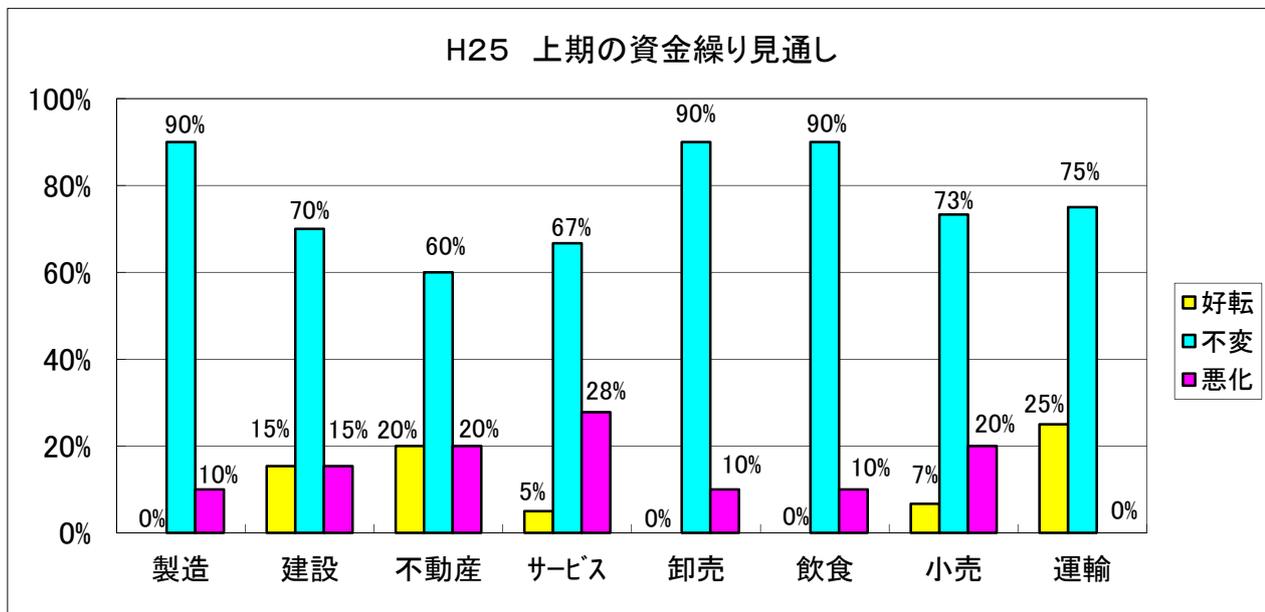
「不足」との回答が多かったのは、運輸業(33%)、サービス業(28%)、建設業(23%)となり、「過剰」が多かったのが卸売業(20%)であった。



⑤業界の景気動向見通しについて
P5～6を参照。

⑥資金繰りの見通し

資金繰りの「悪化」が予測されるのが、サービス業(28%)、小売業(20%)となった。「好転」となる見通しなのが運輸業(25%)であった。



⑦金融機関の融資状況見通し

融資状況の見通しが「不変」と回答したのは全体で45%、「融資なし」が28%、「厳しい」が14%、「緩やか」が13%となった。業種でみると「厳しい」が多いのは製造業40%であった。

